

◆2020年も「なくてはならない病院」として 病院長ごあいさつ 大平徹郎

東京オリンピック・パラリンピックの2020年がついに幕を開けました。今年こそ世界が平和で、誰もが幸せを実感できる1年であってほしいものです。

西新潟中央病院は、平成の30年で診療分野、建物、周辺環境が大きく変貌しました。生まれ変わった、という表現があてはまります。令和の現在、およそ350名の患者さんが日々入院中です。肺がんなどの呼吸器疾患や、脳神経疾患と闘病中の方々です。救急車で緊急来院の患者さんが年間1000名に達しそうな一方、難病の慢性化により年余にわたって入院中の方々も少なくありません。

ただ病院の姿かたちは移り変わっても、一貫していることがあります。「地域にとって、新潟にとって、なくてはならない病院」とご評価いただくことが、私たちの何よりの励みだということです。患者さんやご家族、地域社会のみなさまに今後もそう思っていただけるよう、職員一同、努力を続けてまいります。